

**2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）**

2023年2月14日

上場会社名 信和株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3447 URL <http://www.shinwa-jp.com>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 則武 栗夫  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長兼 経営企画部長（氏名） 平澤 光良 (TEL) 0584-66-4436  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

**1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）**
**（1）連結経営成績（累計）**

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,130	△4.0	1,389	△26.8	1,338	△27.4	923	△27.0	932	△27.8	914	△28.0
2022年3月期第3四半期	12,630	18.0	1,899	25.2	1,842	25.7	1,263	24.4	1,291	28.6	1,270	24.6
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年3月期第3四半期	67.06				67.05							
2022年3月期第3四半期	93.62				93.22							

**（2）連結財政状態**

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,501	15,483	15,465	71.9
2022年3月期	22,515	15,158	15,130	67.2

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

**3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）**

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△6.6	1,600	△25.1	1,550	△24.9	1,070	△24.2	1,080	△25.7	77.69

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2023年2月14日）公表いたしました「2023年3月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	14,103,000株	2022年3月期	14,103,000株
2023年3月期3Q	197,118株	2022年3月期	207,234株
2023年3月期3Q	13,901,762株	2022年3月期3Q	13,791,494株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる事項等につきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響はまだ見られるものの、ウィズコロナの新たな段階を見据えた各種政策等により、景況感はゆるやかな持ち直しの動きが継続しました。一方で、急激な為替変動の影響による物価及び資源価格の高騰が続いているほか、中国のコロナ政策が及ぼすサプライチェーンへの影響、為替や金利の急激な変動等、経済の先行きについては予断を許さない状況が継続しております。

当社製品の主な供給先である建設業界におきましては、国土交通省「建設総合統計」によると、2022年4月から11月の建設投資総額は34.2兆円(前年同期比1.6%増)と、底堅い推移ではあるものの、資材や工事費用を含む物価高騰を背景とした工事の着工延期や中止等が見られ、同「建築物着工統計」によると、2022年4月から11月の住居・非住居合計の着工床面積は78,270千平米(前年同期比0.7%減)と足踏み感が見られました。一方、物流機器部門においては、経済及び企業活動の回復基調に伴い、各種輸送用機器の需要が高まりました。

このような状況の中、当社は収益性維持のため販売価格の見直しを実行しつつ、コストの抑制に取り組みました。また、2022年9月28日に開示いたしました当社元従業員による不適切行為を重く受け止め、社内体制の見直しを通じ再発防止策の推進及びコンプライアンス体制の立て直し、顧客の信頼回復に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上収益は12,130百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益は1,389百万円(前年同期比26.8%減)、税引前四半期利益は1,338百万円(前年同期比27.4%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は932百万円(前年同期比27.8%減)となりました。

なお、当社グループは単一の事業セグメントであるため、以下では各部門の売上収益について記述してまいります。

#### ① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、建設工事案件の底堅さを背景に、主力製品であるくさび緊結式足場及び次世代足場の需要は継続しているものの、建築資材の高騰状況が継続していること等から、仮設資材をレンタルで調達する志向が強まっております。この結果、仮設資材レンタル企業からの需要は堅調に推移したものの、仮設資材を自社保有している企業からの需要は足踏み感が見られました。

また、前述の不適切行為への対処として、対象拠点の営業・管理体制を刷新し、業務運営全体の是正を図る活動を重視した結果、当該拠点における売上収益が減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における仮設資材部門の売上収益は8,482百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

#### ② 物流機器部門

物流機器部門においては、各種産業における生産活動の活発化、物流量の増大が見られました。これらを背景にリピート案件の需要が旺盛であり、安定的な受注獲得に繋がりました。加えて、電気機器向け資材搬送用パレット案件や、新たな産業領域である建材分野向け物流機器案件が売上収益の増加に大きく貢献いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における物流機器部門の売上収益は3,648百万円(前年同期比30.4%増)となりました。

(単位：千円)

製品及びサービスの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
仮設資材	くさび緊結式足場	6,052,441	5,155,426
	次世代足場	1,613,241	1,278,559
	その他の仮設資材	2,167,335	2,048,569
	(小計)	9,833,019	8,482,555
物流機器	パレット	2,797,829	3,648,386
	(小計)	2,797,829	3,648,386
合計		12,630,848	12,130,942

(注) その他の仮設資材及びパレットには、IFRS第16号に基づくリースから生じる売上収益が前第3四半期連結累計期間は315,492千円、当第3四半期連結累計期間は416,811千円含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は8,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ976百万円減少しました。この主な要因は、棚卸資産が988百万円増加した一方、現金及び現金同等物が1,522百万円減少したためであります。また、非流動資産は13,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少しました。この結果、資産合計は21,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,014百万円減少しました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は2,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,067百万円減少しました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が543百万円減少、未払法人所得税が361百万円減少、借入金が124百万円減少したためであります。また、非流動負債は3,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円減少しました。この主な要因は、借入金が243百万円減少したためであります。この結果、負債合計は6,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,339百万円減少しました。

### (資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は15,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円増加しました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上932百万円、配当の実施597百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,522百万円減少し1,938百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは163百万円となり、前年同四半期と比べ535百万円減少しました。主な収入要因は、税引前四半期利益1,338百万円、減価償却費及び償却費453百万円、営業債権及びその他の債権の減少150百万円であり、主な支出要因は、棚卸資産の増加988百万円、法人所得税の支払額775百万円、営業債務及びその他の債務の減少221百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は594百万円となり、前年同四半期と比べ23百万円増加しました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出556百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は1,089百万円となり、前年同四半期と比べ1,131百万円減少しました。主な収入要因は短期借入金の借入による収入1,425百万円、主な支出要因は、短期借入金の返済による支出1,554百万円、配当金の支出599百万円、長期借入金の返済による支出250百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、本日(2023年2月14日)公表いたしました「2023年3月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,460,569	1,938,346
営業債権及びその他の債権	2,759,028	2,595,050
棚卸資産	2,467,765	3,456,262
その他の流動資産	393,795	115,329
流動資産合計	9,081,159	8,104,989
非流動資産		
有形固定資産	2,450,806	2,454,021
使用権資産	324,090	252,674
のれん	9,221,769	9,221,769
無形資産	1,371,800	1,389,142
その他の金融資産	55,942	67,132
その他の非流動資産	10,115	11,877
非流動資産合計	13,434,524	13,396,617
資産合計	22,515,684	21,501,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,192,304	648,819
借入金	1,622,952	1,498,469
未払法人所得税	416,686	55,000
その他の金融負債	125,254	116,432
その他の流動負債	195,211	166,559
流動負債合計	3,552,409	2,485,280
非流動負債		
借入金	3,234,979	2,991,430
引当金	45,520	45,554
その他の金融負債	237,062	182,740
繰延税金負債	283,230	308,814
その他の非流動負債	3,900	3,900
非流動負債合計	3,804,693	3,532,440
負債合計	7,357,103	6,017,720
資本		
資本金	153,576	153,576
資本剰余金	6,919,802	6,919,671
利益剰余金	8,211,397	8,546,117
自己株式	△163,101	△155,130
その他の資本の構成要素	9,065	961
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,130,740	15,465,196
非支配持分	27,840	18,689
資本合計	15,158,581	15,483,886
負債及び資本合計	22,515,684	21,501,607



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	12,630,848	12,130,942
売上原価	△9,247,483	△9,211,006
売上総利益	3,383,365	2,919,936
販売費及び一般管理費	△1,466,681	△1,499,333
その他の収益	12,399	13,276
その他の費用	△29,911	△44,483
営業利益	1,899,171	1,389,396
金融収益	409	641
金融費用	△57,200	△51,824
税引前四半期利益	1,842,380	1,338,213
法人所得税費用	△578,581	△415,176
四半期利益	1,263,798	923,036
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,291,108	932,238
非支配持分	△27,310	△9,201
四半期利益	1,263,798	923,036
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	93.62	67.06
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	93.22	67.05

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	1,263,798	923,036
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1	1,468
純損益に振り替えられることのない項目 合計	1	1,468
純損益に振り替えられる可能性がある項目：		
在外営業活動体の外貨換算差額	6,731	104
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	△9,626
純損益に振り替えられる可能性がある項目 合計	6,731	△9,522
税引後その他の包括利益	6,732	△8,053
四半期包括利益合計	1,270,531	914,983
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	1,294,542	924,133
非支配持分	△24,011	△9,150
四半期包括利益合計	1,270,531	914,983

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	その他の資本の構成要素									資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素合計			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	在外営業活動体の外貨換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2021年4月1日残高	153,576	6,969,569	7,252,148	—	—	4,010	4,010	14,379,305	63,816	14,443,121
四半期利益	—	—	1,291,108	—	—	—	—	1,291,108	△27,310	1,263,798
その他の包括利益	—	—	—	—	1	3,432	3,434	3,434	3,298	6,732
四半期包括利益合計	—	—	1,291,108	—	1	3,432	3,434	1,294,542	△24,011	1,270,531
自己株式の取得	—	—	—	△299,267	—	—	—	△299,267	—	△299,267
配当金	—	—	△493,605	—	—	—	—	△493,605	—	△493,605
所有者との取引額等合計	—	—	△493,605	△299,267	—	—	—	△792,872	—	△792,872
2021年12月31日残高	153,576	6,969,569	8,049,652	△299,267	1	7,443	7,444	14,880,974	39,804	14,920,779

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2022年4月1日残高	153,576	6,919,802	8,211,397	△163,101
四半期利益	—	—	932,238	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	932,238	—
配当金	—	—	△597,517	—
株式報酬取引	—	△131	—	7,971
所有者との取引額等合計	—	△131	△597,517	7,971
2022年12月31日残高	153,576	6,919,671	8,546,117	△155,130

	その他の資本の構成要素						非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	在外営業活動体の外貨換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の資本の構成要素合計	親会社の所有者に帰属する持分合計			
2022年4月1日残高	△138	9,203	—	9,065	15,130,740	27,840	15,158,581	
四半期利益	—	—	—	—	932,238	△9,201	923,036	
その他の包括利益	1,468	53	△9,626	△8,104	△8,104	51	△8,053	
四半期包括利益合計	1,468	53	△9,626	△8,104	924,133	△9,150	914,983	
配当金	—	—	—	—	△597,517	—	△597,517	
株式報酬取引	—	—	—	—	7,839	—	7,839	
所有者との取引額等合計	—	—	—	—	△589,678	—	△589,678	
2022年12月31日残高	1,330	9,257	△9,626	961	15,465,196	18,689	15,483,886	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,842,380	1,338,213
減価償却費及び償却費	408,284	453,287
金融収益及び金融費用	56,791	51,183
固定資産売却損益 (△は益)	—	△5,396
固定資産処分損	0	11
株式報酬費用	—	4,694
棚卸資産の増減	△812,525	△988,194
営業債権及びその他の債権の増減	△71,923	150,691
営業債務及びその他の債務の増減	284,472	△221,779
その他の増減	△85,347	190,659
小計	1,622,131	973,371
利息及び配当金の受取額	409	641
利息の支払額	△31,839	△34,926
法人所得税の支払額	△895,939	△775,869
法人所得税の還付額	4,383	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	699,145	163,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	—	5,507
有形固定資産の取得による支出	△468,466	△556,733
無形資産の取得による支出	△100,424	△34,629
金融資産の取得による支出	△2,968	△9,141
その他	570	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△571,288	△594,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	—	1,425,432
短期借入金の返済による支出	△86,782	△1,554,979
長期借入金の返済による支出	△1,250,000	△250,000
ファイナンス費用の支出	△8,137	△7,808
配当金の支出	△497,666	△599,029
自己株式の取得による支出	△299,267	—
リース負債の返済による支出	△78,754	△102,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,220,608	△1,089,186
現金及び現金同等物の為替変動による影響	8,765	△1,304
現金及び現金同等物の増減額	△2,083,985	△1,522,223
現金及び現金同等物の期首残高	4,738,197	3,460,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,654,211	1,938,346

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

要約四半期連結損益計算書関係

当社グループは当連結会計年度より、従来、「売上原価」として計上していた費用の一部を「販売費及び一般管理費」として計上しております。この変更は、中期経営計画に掲げたレンタル事業の強化を目的とし、機材センターの移転、及び拡張の検討を契機として機材センターにおける費用の再検討を行い、事業活動の内容に照らしより明瞭な表示とするために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の要約四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において、「売上原価」として表示していた31,771千円は、「販売費及び一般管理費」として組替えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。